

# 週刊まつもとm+

松本市、塩尻市、安曇野市、大町市、東筑摩郡、北安曇郡、木曾郡 120,500部発行

2013

5.10 毎週 **金** 曜日発行  
【Fri.】号 vol.1258

CONTENTS

- 5 松本山雅人
- 6.7 盛春芝桜花一芝桜の里を訪ねて
- 8 幸せの食卓88
- 10 ペットとの絆を育む住まい

【発行】信濃毎日新聞社

■記事のお問い合わせ…週刊まつもと編集室  
〒399-8711 松本市宮田2番10号 信毎ビル内  
TEL.0263-26-3155(代) FAX.0263-26-2320  
E-mail w-m@shinmai.co.jp  
■広告のお問い合わせ…(株)ながのアド・ビュロー  
TEL.0263-36-0250

## 「太鼓たたいて笛ふいて!!」

5月17日(金)午後7時～、18日(土)午後2時～、7時～、19日(日)午後2時～。松本市大手・ピカテリーホール。大人前売り1500円、当日1800円、学生500円。TEL.0263-32-0088。



## 新劇に取り組む異色劇団 劇団うたかた第10回公演 林美美子の 半生描く



松本市のピカテリーホール専属劇団うたかた第10回公演「太鼓たたいて笛ふいて!!」は17日(金)から19日(日)まで同ホールで開く。7年前、「中高年による中高年のための劇団」として発足。過去の新劇の名作といわれる作品を主に上演してきた。しかし現在は年齢制限を設けず、30代から70代の団員が世代を超えて一つの舞台をつくりあげている。

今回上演するのは、井上ひさしの「太鼓たたいて笛ふいて!!」。「放浪記」で知られる林美美子の半生を描いた作品だ。1935(昭和10)年から51(同26)年夏まで、戦争、敗戦という時代の波に強く立ち向かった美美子と彼女を取り巻く人々を演じる。劇中で登場する10曲の挿入歌を作曲したのは地元のシンガーソングライター堀六平さんだ。舞台ではピアノの三島ひとみさん、ギターの合津征樹さんの生演奏で役者たちが歌う。

前作から一年半。今回の上演までの道のりは順調ではなかったと、代表の堀内博さんは振り返る。「自分たちを取り巻く環境は大きく変化してしまったのだろうか」。そんな不安もある。しかし時代の変化と命がけで闘った林美美子をして、一人一人の役者が立ち向かっていく。